

## 第4次宇都宮市情報化計画の改定の方向性について

## ◎ 趣 旨

令和4年度をもって計画期間が満了する「第4次宇都宮市情報化計画」の改定に係る方向性について、ご意見をいただくもの

## 1 デジタル化を取り巻く現状と環境の変化

- ・ 本市においては、平成30年3月に「第4次宇都宮市情報化計画」（計画期間：平成30年度から令和4年度までの5か年。以下「現行計画」という。）を策定し、情報化施策を総合的・計画的に推進しているところである。
- ・ そうした中、新型コロナウイルス感染症の拡大を契機に、デジタル・トランスフォーメーション（DX）への対応など、社会全体としてデジタル化への変革が強く求められており、国や地方公共団体においても、行政のデジタル化と地域のデジタル化を早急に進めていく必要性が高まっている。

## 2 現行計画における進行管理上の課題

- ・ 現行計画は、4つの基本方針に基づきながら、重点事業等を定め各施策・事業に取り組んでいるが、AI・RPAなどの新たな技術の現出・普及により生じた情勢・潮流に適応した「新たな事業」を臨機応変に（＝計画策定時には無かった事業を現行計画に上乘せしながら）推進している状況にある。

※ 現行計画で定めた中期的に目指す基本方針については、近年のデジタル化・DXの情勢と引き続き整合が捉えられているものと考えられる。

【計画策定時の事業件数：87 ⇒ 令和3年度の事業件数：116（+29（約3割増））】

- ・ また、近年、国から示された自治体DX推進計画などの方針等には対応できているものの、施策の計画・推進に当たっては、3年後、5年後に主流（スタンダード）となるデジタルサービスを予測することが困難なことを念頭に置き、今後、より一層、目まぐるしく変化するデジタル技術の進展や多様化する行政課題に対応していく必要がある。

⇒ **特に進展の早いデジタル分野では、時代の潮流等に即した「新たな事業」が今後も現出してくることが考えられることから、現行の情報化計画をより実態に即した体系に最適化し、中長期的な目標に向け施策・事業を柔軟かつ機動的に展開していく必要がある。**

### 3 計画体系の比較及び他市の状況等…別紙4・別紙5

- ・ 現在の状況や課題等を踏まえ、計画の体系について比較検討を行う。
- ・ 他市の状況としては、市としての方針や方向性など大きな括りまでを定め、具体的な事業は「実行計画」等で実施している自治体も増加している状況にある。

### 4 計画改定の方向性

- ・ 現行計画の改定にあたっては、「デジタル化」の着実な推進に向け、これまでの実態やデジタル分野の特性を踏まえ、「柔軟性」と「実行性」を確保した推進体系を検討していく。

### 5 今後の予定

#### 【令和3年度】

本懇談会でいただいたご意見を踏まえ、現行計画改定の方向性等について決定（市）

#### 【令和4年度（計画改定年度）】

現行計画の改定にあたっては、本懇談会を3回（予定）開催させていただき、ご意見をいただきながら、次期情報化計画の策定を進めていく。

- ①現状と課題の整理、今後の進め方等について
- ②骨子案（取り組むべき施策を含む）について
- ③計画案について